

(様式第1号)

指定管理者制度導入施設モニタリング票（評価対象年度:令和4年度）

施設の名称	名取市増田児童センター
指定管理者の名称	特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわ
施設所管部課（室）	健康福祉部こども支援課

1. 管理形態の推移 【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者（管理受託者）	摘要
昭和47年4月3日～平成26年3月31日	直営		
平成26年4月1日～平成28年3月31日	管理受託	特定非営利活動法人子育て応援団ひよこ	
平成28年4月1日～	指定管理者	特定非営利活動法人子育て応援団ひよこ (H29.8.3名称変更 特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわ)	

(注) 管理形態欄には、直営・管理受託・指定管理者の別を記入

2. 現指定管理者の概要 【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわ
	所在地	名取市みどり台三丁目19番地の4
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年0ヶ月）	
募集方法	公募 ・ 非公募	

3. 施設の概要 【施設所管課記入】

施設の名称	名取市増田児童センター
所在地	名取市増田三丁目9番56号
設置年月	昭和47年4月
根拠条例等	名取市児童厚生施設条例、名取市放課後児童健全育成事業の設置及び運営に関する基準を定める条例、名取市放課後児童クラブ実施条例、名取市児童館管理規則、名取市放課後児童クラブ実施条例施行規則
設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにするため児童福祉法第40条に規定する児童厚生施設を設置する。
施設の内容	静養室、集会室、図書室、クラブ室、遊戯室等
開館時間	月曜日～金曜日：午前9時（小学校等休業日は午前8時）～午後7時
休館日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3）
指定管理者が行う管理運営業務	放課後児童クラブ業務、自由来館業務、地域子育て支援拠点事業（一般型）、地域子育て支援事業（出張サロン）、名取市ファミリー・サポート・センター業務、地域活動クラブ業務、相談業務、各種行事及びクラブ活動の実施、自主事業の実施、児童センターだよりの発行（月1回、原稿等の企画構成）、小学校への長期休業時の利用周知
利用料金制度	採用の有無 有 ・ 無
	利用料金の名称

4. 施設の利用実績 【指定管理者記入】

	評価対象年度（A）	前年度（B）	前々年度	評価対象年度の 対前年度比（%） （A） / （B）
	令和4年度	令和3年度	令和2年度	
開館日数	294日	294日	294日	100.0%
延べ利用者数	49,499人	44,397人	42,937人	111.5%
利用者数（人/日）	168.4人/日	151.0人/日	146.0人/日	111.5%
主な増減原因	増田小学校児童数増加、放課後児童クラブ登録児童増加 により			

（注）対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入すること。

5. 管理運営の収支状況 【指定管理者記入】

（1）収入

（単位：千円、%）

	評価対象年度（A）	前年度（B）	前々年度	評価対象年度の 対前年度比（%） （A） / （B）
	令和4年度	令和3年度	令和2年度	
指定管理料	47,827	47,660	42,160	100.4%
利用料金収入				-
その他	2,921	1,881	5,143	155.3%
収入計（ア）	50,748	49,541	47,303	102.4%

（2）支出

人件費	41,900	40,086	36,952	104.5%
施設管理費	2,696	2,635	2,407	102.3%
事業運営費	5,004	5,486	5,899	91.2%
その他	1,148	1,334	1,581	86.1%
支出計（イ）	50,748	49,541	46,839	102.4%

（3）収支

収支（ウ） = （ア） - （イ）	0	0	464	0.0%
前期繰越収支差額	4,502	4,502	4,038	100.00%
次期繰越収支差額	4,502	4,502	4,502	100.00%

6. サービス向上や利用者数の増加等のために実施した主な取り組み 【指定管理者記入】

小学生の利用については、前年度から増設したクラブ室を使用し、より過ごしやすい環境を児童たちと考えながら必要なものやルールを整備し環境づくりを日々行っている。また、児童が自ら企画した活動を児童センターで行事として実施する機会を設けたり、「2022なとりこどもフレンズ」に挑戦し、自分たちの活動や企画を多くの方に伝え、協力をいただき、実現するという経験をすることができた。

また、中高生の利用が少しずつ定着をし始め、どのように過ごしたいのか。児童センターに何を求めているのかを関わりの中で見つ、中高生の居場所にもなるように考えている。

子育て支援拠点事業については、コロナの状況により、行事の持ち方を工夫しながらママリフレッシュや制作活動、親子運動遊びなどニーズに応えられる行事や活動を行った。また、少しずつではあるが、交流を図れるような活動も行った。ニーズの変化も感じており、リフレッシュのための託児有の行事よりも親子で楽しめる活動を求める声が多かった。利用者の声を聞きながら活動に反映できるように行事等を実施した。

ファミリー・サポート・センター事業では、依頼件数の多少の増減はあるものの協力会員へのコロナウィルス感染対策を促しながら、安心安全な活動を継続することができた。ニーズとしては託児よりも習い事や幼稚園・保育所への送迎が増えている。さまざまなニーズに対応できるように他ボランティアとの交流を図りながら広報を行った。

7. 施設利用者の主な声やその対応状況 【指定管理者記入】

利用者からは、コロナ禍での安全安心な環境づくり、日々の取り組みに好意的な声を多くいただいている。また、増設をしたことにより環境が改善されている。日々の消毒、清掃作業についても理解をいただき、利用する際の安心に繋がっているように感じている。また、児童との関り、保護者対応についても一定の評価をいただいているが、自由来館児童をはじめとした一人帰りで児童センターを利用している児童の保護者からは、「児童の日頃の様子がわからない」という声がある。児童センターだよりやコードモンのお知らせを通して児童センターや職員を身近に感じていただけるようなツールや機会を設けていけるようお知らせなどはこまめに発信していく。また、お会いした際にはコミュニケーションを図るチャンスと捉え、日々の関りを大切にしていきたい。

安全管理等については、児童クラブの出欠管理や利用児童のケガ等の緊急時対応についても評価をいただいている声があった。今後も安全管理・対応については、より迅速かつ丁寧な対応を心掛けていきたい。

行事等については充実を図る要望は以前から寄せられている。中には以前行っていた「午後の喫茶店」という手作りおやつを食べながら会話を楽しむ行事や地域活動で行っていた「お化け屋敷」の再開を望む声が多く見られた。人数の増加とコロナ禍での実施には多くの工夫や検討は必要だが、子どもたちや保護者や、地域の方々が同じ気持ちを共有し、交流を図ることができる機会を設けるため、児童クラブ親子の交流会やボランティア交流会などを実施した。

8. 施設の管理運営における課題 【指定管理者記入】

・小学生の利用について

来館児童が年々増加傾向にあり、日々の環境づくりは課題を感じている。一人一人が自由に安心して過ごすことができる環境を作りたいが、スペースに限りがあり、天候等によって活動を制限しなければならない状況がある。

増設を重ねているため部屋数が多く死角が多い。児童は分散されるため、その分職員の連携を図ることに課題を感じている。安全管理という視点に偏ることなく、児童の自主性や遊びに対する意欲を大切にしながら放課後の時間を守っていきたい。

・中高生の利用について

ここ数年で利用者が定着してきているため、今利用している中高生を大切に、今後利用が増えることを想定し、過ごし方や異年齢との関わり、棲み分けについて定めていきたい。

・乳幼児の利用について

コロナ禍で減少した利用者が少しずつ戻ってきている。また、新規の利用者も年度末には増えてきている。あらためて、今一度児童センターでできることを知ってもらう。職員を身近に感じてもらう。今の子育てニーズを把握する。など、一つ一つの機会を大切に、地域の子育て支援の拠点となるように努めていきたい。

・ファミリー・サポート・センターについて

会員が減少傾向にあるため、広報や周知の方法について出張登録会等の方法を検討している。また、習い事や保育所幼稚園への送迎のニーズが増えているため、行動範囲の広く、車の運転ができる協力会員を増やすことが課題となっている。また、「家庭の状況により利用頻度が高い。」「家庭としての課題を抱えている。」など、他の支援につなぐ必要性を感じるケースも増えてきているため、対応の手段を複数検討することや、他機関との連携が必要になっている。

9. 管理運営状況 【施設所管課及び指定管理者記入】

評価項目		着眼点	自己 評価	所管 評価
1. 実施 体制に 関する 評価	管理運営体制	管理運営に必要な人員配置、組織体制を整備している。	○	○
		業務に必要な職員研修や教育等を適切に行っている。	○	○
		各種管理記録を適切に整備、保管している。	○	○
	施設等の維持 管理等	施設、設備等の清掃、保守点検、修繕等を適切に行っている。	○	○
	安全対策	日常の安全管理や緊急時のマニュアル整備等の体制を整備している。	○	○
	個人情報の 保護	個人情報の管理を適切に行っている。	○	○
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	○	○
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	○	○
	法令等の遵守	特定の者に有利又は不利な取扱いをしていない。	○	○
		開館時間、休館日、使用許可等の運用が法令等に基づき適正に行われている。	○	○
		労働条件等に関する労働関係法令等が遵守されている。	○	○
		その他、関係法令等が遵守されている。	○	○
	2. サー ビスの 内容や 水準に 関する 評価	指定事業の 実施	事業計画書等に基づき適切に事業を実施している。	○
業務の再委託は事前に市の承諾を受け、委託先の業務を適切に管理している。			○	○
自主事業の 実施		施設の設置目的に沿った自主事業を実施している。	○	○
利用者の満足 度向上		利用者の満足度向上に向けた取組みを行っている。	○	◎
利用者の苦情、 要望等の把握 とその対応		利用者アンケートなど、利用者ニーズの把握にむけた取組みを実施している。	○	◎
		苦情、要望等について、受付窓口の整備や対応を適切に行っている。	○	○
利用状況等		利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	○	○
3. 経営 状況に 関する 評価	収支状況等	事業計画書等に基づく妥当な事業収支である。	○	○
		経費の節減や使用料収入の向上に向けた取組みを行っている。	○	○
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	○	○

【評価の基準(目安)】

評価		評価の考え方
◎	(優良)	協定書や事業計画書等より優れた内容で管理運営を行った。
○	(良好)	協定書や事業計画書等に基づき適正な管理運営を行った。
△	(課題有)	協定書や事業計画書等を下回る内容であり、一部の業務に改善が必要である。
×	(要改善)	協定書や事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかったため、改善を要する。

※該当しない項目については、「—」を記入する。

10. 施設所管課の総合評価 【施設所管課記入】

放課後児童健全育成事業の実施場所を複数個所で実施している中で子どもや保護者など利用者への丁寧な対応が評価できる。また、平日利用・土曜日利用など利用者数が登録児童も自由来館も増加しているため、今後の安全対策や安心して利用者が施設を利用できるよう、安心安全を優先した施設管理および運営に努めていただきたい。